

メディアの影響力

1、 序論

本テーマでは「マス・メディアが政治を営む人々に与える影響力」について小グループ毎の議論を通じ、参加者各自が他者との対話の中でテーマに対する考察を深めていくことを目的としている。

2、 マス・メディアの影響力？

マス・メディア：多数の人とのコミュニケーション（情報のやりとり）を行うための媒介。

☆ メディアが政治に影響を及ぼしたと言われる2005年の解散総選挙において、マス・メディアであるテレビはいかなる役割を果たしたのか。

① テレビの特性

- ・ 即時性と同時性
- ・ 映像のインパクト
- ・ 時間的制約
- ・ 受動性

② 2005年度解散総選挙においてテレビが果たした役割

- ・ 劇場政治演出（刺客候補）
- ・ ポピュリズム（善悪二項対立の争点設定と大衆動員）
- ・ 分かりやすさの追求（ワンフレーズ・ポリティックス）

3、 マス・メディアの機能

☆ マス・メディアが人に与える影響力を功罪両面からとらえる

a) マス・メディアに求められる機能（ポジティブな影響力）

- ・ 正しい情報の正確な伝達
- ・ 社会的事象の論評と解説

→ 政治を構成する人間の意思を形成する。

b) 批判されているテレビの機能（ネガティブな影響力）

- ・ 利益追求による弊害（正確さよりも娯楽性・スキャンダル性に流れやすい）
- ・ 単純化による誤報性・偏向性

→ 世論誘導が行われる。

4、 マス・メディアの機能を実現させる理想的手段は？

- ・ メディアの規制？
- ・ 別種のマス・メディア？（新聞、書籍、インターネット）

☆ 改めて、マス・メディアの影響力とは？

【参考文献】

岡満男・山口功二・渡辺武達編『メディア学の現在』（世界思想社、1997） / 草野厚『テレビは政治を動かすか』（NTT出版、2006） / 佐藤卓巳『メディア社会』（岩波新書、2006） / 谷藤悦司『現代メディアと政治』（一瞥社、2005） / 星浩・逢坂巖『テレビ政治—国会報道からTVタックルまで』（朝日選書、2006） / 渡辺武達『メディアと情報は誰のものか』（潮出版、2000） / 竹中治堅「「小泉以後」の三条件 世論・改革・参議院の重さ」『中央公論』2005年11月号 / 上杉隆「「小泉劇場」36日間の狂乱」『現代』2005年11月号 / 石田英敬「「テレビ国家」のクーデター」『論座』2005年11月号